

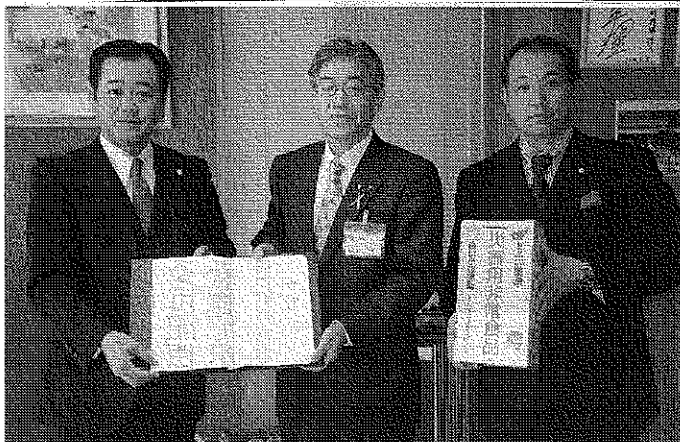
伊勢新聞

災害時に物資調達

日本非常食
推進機構

南伊勢町と協定

【度会郡】南伊勢町と日 治代表理事）は二十一日、
本非常食推進機構（古谷賢 町役場南勢庁舎で、災害救



助に必要な物資
の調達と普及啓
発に関する協定
書に調印を交わ
した。

同協定は、町
民に災害用物資
の個人備蓄を推
進するための啓
発活動を協力し

協定を結んだ小
山町長（中央）
と古谷代表理事
（左） 南伊勢
町五ヶ所浦の町
役場南勢庁舎で

て実施し、災害時には同機
構の災害用物資を活用した
調達と供給を行う。

この日は、古谷代表理事
（右）と尾崎幹顧問（左）が同
庁舎を訪れ、小山巧町長と
協定を結んだ。

小山町長は、「地震津波
災害では、町民は防災意識
を高く持つ必要がある。今
回の協定は町としてもあり
がたい」と述べ、古谷代表
理事は、「県やいろいろな市

町に協力いただいで、住民
の皆さんに根付いた運動に
していきたい」と話した。

同機構は三年前から、企
業に協賛金を募り、県内二
十九市町に災害用物資を無
料配布する「白い小箱運動」
を実施し、県民の防災意識
向上などに取り組んでい
る。同様の協定を結ぶのは
同町で十例目となり、来年
の二月には同物資（白い小
箱）を町に配布する予定。